

会場：横浜赤レンガ倉庫 1号館3Fホール

〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港1-1-1 <http://www.yokohama-akarenga.jp>

《電車をご利用の場合》

- ◎JR・市営地下鉄「桜木町駅」より自動車経由で徒歩15分
 - ◎JR・市営地下鉄「関内駅」より徒歩15分
 - ◎みなとみらい線「馬車道駅」または「日本大通り駅」より徒歩6分
 - ◎「みなとみらい駅」より徒歩12分
- ※所要時間は目安です。運行状況や乗り継ぎ等により異なります。

《お車をご利用の場合》

- ◎首都高速「みなとみらい」または「横浜公園」出口をご利用ください。
駐車場のご案内
ご利用時間：24時間／年中無休
駐車料金：最初の1時間500円 以後250円／30分
1号館横駐車場に「電気自動車充電スタンド」を2基設置しています。

※ご利用方法・時間につきましては駐車場の案内をご確認ください。
満車時などご利用いただけない場合があります。

《バスをご利用の場合》

- ◎観光スポット周遊バス「あかいくつ」
「桜木町駅」から「赤レンガ倉庫」下車（毎日運行）
運賃：大人100円（小人50円）
- ◎市営バス横浜駅直行便（270系統）
「横浜駅」から「赤レンガ倉庫」下車（土曜・日曜・祝日のみ運行）
運賃：大人220円（小人110円）
- ◎京浜急行バス
空港リムジンバス「羽田空港」から「赤レンガ倉庫」下車
運賃：大人720円（小児360円）

《船をご利用の場合》

- ◎横浜駅東口～みなとみらい～赤レンガ倉庫～山下公園を結ぶ水上バス「シーバス」をご利用いただけます。
1号館の海側に乗り場がございます。

※ご利用料金・運行時間など詳しくはHP (www.yokohama-cruising.jp/) をご覧ください。



石を愛するコミュニティ

一般社団法人
日本石材産業協会
The Japan Stone Industry Association

一般社団法人日本石材産業協会

定時総会 2016

6月16日(木)・17日(金)
横浜赤レンガ倉庫
1号館3Fホール

祝賀会
ホテルモントレ横浜13F
『ホール・シエル』(レストラン エスカーレ)



石を愛するコミュニティ

「お墓のある豊かな暮らしの再生と未来」

話題の書「寺院消滅」著者による《基調講演》
有名アーティストサポートバンドの《ジャズ演奏》
横浜の歴史を巡る《研修ツアー開催》

JSPA
7TH ANNUAL SHAREHOLDERS MEETING IN YOKOHAMA
RED BRICK WAREHOUSE
2016 2DAYS
6/16 THU - 17 FRI





一般社団法人日本石材産業協会 第7回 定時総会 2016

会期:6月16日(木)・17日(金)
会場:横浜赤レンガ倉庫1号館3Fホール

※クルーズでお越しください。

6/16 thu	受付開始	11:30-
	全体開会式	12:30-
	基調講演	12:35-13:20
	パネルディスカッション	13:30-15:00
	定時総会	15:15-17:00
6/17 fri	祝賀会	18:00-20:00
	研修会	9:00- 13:30

※希望者のみのご参加となります。(参加費別途要)



媚びず、動ぜず、凜として

時代は大きく急激に動いています。その中で供養が単なる事務処理化してしまっているような気がしてなりません。また、伝統的な美しい先祖観も失われつつあるように思えます。今こそ、お墓参りという習慣の根ざした暮らしの豊かさと、石という素材の持つ魅力・多様性・可能性を発信してまいります。

一般社団法人
日本石材産業協会 会長
射場一之



開港の地から、石の明日を問う

横浜は、明治維新前から世界に開かれた開港の地でした。進取の気風の地でもあります。日本近代化の建築物に多くの石材が使われ、外国人墓地には、140年余の墓石の文化遺産が多く、石材人であれば必見です。

石文化は、時空を超えて人間の歴史を刻み、伝えてきました。現代は、寺院消滅や墓じまい等、人間のモノ化による葬送文化の危機にあります。ぜひ、石文化の永続性と豊かな精神文化について、総会で大いに学び交流しましょう。

第7回定時総会
実行委員長
長江曜子



両日共、ご参加には事前申し込みが必要となります。別途「申込書」にて必ず申し込みください。

6/16 thu

daily event

12:35-13:20

基調講演 ¥ 登録費:2,000円(お一人様)

講師: 鶴飼秀徳氏

寺院消滅

お墓のある豊かな暮らしの再生と未来

少子高齢社会から、2005年人口減少社会に切り替わり、まさに消滅都市の危機的な情報もたらされています。地方のムラがなくなるまえに、寺院は消滅の危機にあります。

40代の若い日経ビジネスの記者であり、ご自身も檀家が120軒という京都の寺の副住職でもある鶴飼氏。昨年寺院の消滅の危機に対し全国を实地検証レポートした衝撃的な著書が「寺院消滅」です。全国の7万カ寺のうちなんと現在すでに2万は、住職不在。10年後には菩提寺もお墓もなくなったという現象があちこちで社会問題化するでしょう。

この基調講演では、鶴飼氏から厳しい現状のほか寺院生き残り策として、地域社会再生に頑張っている具体例を提示していただき、寺院やお墓のある精神文化の大切さと地域再生策を語っていただきます。



鶴飼秀徳氏

うかいひでのり◎日経ビジネス記者、浄土宗・正覚寺副住職(京都)。1974年、京都市右京区生まれ。成城大学卒業後、報知新聞社に入社。事件・政治担当記者を経て、日経ホーム出版社(現日経BP社)に中途入社。月刊誌「日経おとなのOFF」など多数のライフスタイル系雑誌を経験。2012年から週刊経済誌「日経ビジネス」記者。これまで社会、政治、経済、宗教、文化など幅広い取材分野の経験を生かし、企画型の記事を多数執筆。近年はチェルノブイリ原発取材や北方領土取材などで現地入り。2012年と2015年に択捉島、2013年に色丹島に入り、残された日本人墓地などの現状を伝えた。

13:30-15:00

パネルディスカッション

鶴飼秀徳氏×清水祐孝氏(鎌倉新書)×
石井靖氏(やまと石材)×
射場一之(一般社団法人日本石材産業協会会長)

コーディネーター 長江曜子 一般社団法人日本石材産業協会副会長

基調講演講師の鶴飼秀徳氏を交えて、寺院と関係が深い石材業界の今後を予想する。業界からは先ほど上場した、(株)鎌倉新書/清水祐孝社長から石材業界はもとより葬儀、仏壇業界の傾向をお話しいただく。またインターネット墓石販売の先駆者である、(株)やまと石材/石井靖社長から石材業界、生活者の変化、今後を予想いただく。コーディネーターは、墓石業界で唯一、教鞭と石材店社長と二足のわらじを履く長江副会長が務める。葬送業界の今後に迫る瞬間に立ち会う時、必見です。

18:00-20:00

祝賀会 ホテルモントレ横浜13F
「ホール・シエル」
(レストラン エスカーレ)

¥ 参加費:8,000円(お一人様)



今出 宏°トリオ JAZZ LIVE

“日本のジャズのふるさと”横浜で
グラスを片手に間近の音楽に
酔いしれる。

今出 imadee° 宏(イマディー)
いまでひろし◎10 holes harmonica, (bluessharp), voice, vocal&song wright. JAZZ, R&B, FUNKを基軸に世界を放浪し培ってきたBORDERLESSなMIXTURE感覚でWORLD MUSICのエッセンスを取り入れ、独自の音楽世界を構築。90年代に黒人ブルーズマン、ハイタイドハリスや伝説のジャズピアニスト故・本田竹広氏に見い出されプロ入り。本田竹広の「JAZZ FUNK BAND」では日野元彦、ポール・ジャクソン等との共演。WORLD MUSIC BAND「PURE」への参加などする一方、J-POP系のサポートもする。以後、2005年頃迄、N.Y.~キューバのオラシオ&ロビーバンドらと綾戸智絵のツアーサポートなどを勤める。また邦楽+アフリカン混合unitなどにも参加しここ数年はアジア各国や、東ヨーロッパ方面にも進出。独自のスタイルでR&Bからエスニックまで、自らのアイデンティティを追求し、現在も「今出 宏° とヒョ・エプロンツ」「GANMI-H°」ほか無数のunitで活動を続けている。一方、J-POP系のアーティストのレコーディングや映画ドラマ、CMにも多数参加し、楽曲提供も多数と注目のアーティスト。

6/17 fri

daily event

9:00-13:30

研修会 ¥ 定員:先着50名
参加費:5,000円(お一人様・昼食付・飲物別)

中華街でのランチ付き! 横浜の歴史巡り 研修ツアー

広大な純日本庭園「三溪園」から
宗教や国境の壁を越えた
お墓の博物館「外国人墓地」を巡る

ボランティア
ガイドがご案内

【三溪園】絹の貿易で財をなした原三溪(本名・富太郎1868~1939)が創設者で、世界遺産に指定された富岡製糸場もかつては三溪が社長を務める原合名会社が所有していた。

東京湾に面した一之谷、二之谷に続く三之谷という谷間に三溪園がある。号「三溪」はこの三之谷にちなんで命名されたという。この地は、三溪の養祖父・原善三郎が明治初期に入手。三溪が家業を継いだのは明治32年(1899)で、古建築の移築はその3年後くらいから始まった。

明治39年(1906)には外苑が一般に公開され、三溪の私庭だった内苑のふたつの庭園からなり、各地から集められた17棟の歴史的建造物と四季の自然が調和した景観が見どころとなっている。

【横浜外国人墓地】1854年、来航中死亡したペリー艦隊の水兵を、増徳院の境内に埋葬したのが外国人墓地の端緒となった。1861年、外国人専用の墓域と定められ、現在は財団法人外国人墓地として管理運営されている。

通常は非公開の墓所内特別ルートを巡る。



行程	
09:00	集合/ホテルモントレ正面玄関
09:30	出発
10:00	三溪園散策
11:15	外国人墓地・周辺散策 資料館や外交官の家など
12:15	中華街「重慶飯店新館」にてランチ
13:30	解散